

令和6年

冬の交通事故防止運動

実施要綱

実施期間 12月11日（水）～12月20日（金）

スローガン 「冬の道ゆとりとマナーで安全運転」



目的

この運動は、年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるとともに、冬型の気候や飲酒機会の増加等により、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人一人に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止を図ることを目的とします。

運動の重点

- ①横断歩行者の交通事故防止
～渡るよサインの活用～
- ②飲酒運転の根絶
- ③冬道の安全走行



運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

公益財団法人 柏崎地区交通安全協会

重点① 横断歩行者の交通事故防止 ～渡るよサインの活用～

ドライバーの皆さんは、早めのライト点灯で横断歩行者の保護を！

- ◎ 年末に向けて夕暮れが早まり、**17時台に最も歩行者事故が多発**します。
前照灯は日没前から、天候に応じて早めの点灯を心掛け、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。
また、前照灯の上向き、下向きをこまめに切り替え、いち早く歩行者を発見できるようにしましょう。
- ◎ 12月は**歩行者事故が多く発生する傾向**にあります。
本年10月末現在、県内の交通事故死者数45人（前年比±0人）のうち、当事者別（車、バイク、自転車、歩行者）では、歩行者が20人（前年比+3人）と最も多く、昨年と比較して大きく増加しています。

歩行者の皆さんは、夜光反射材を身に着けましょう！

- ◎ 夜間の交通事故防止には、**夜光反射材や明るい色の服装が効果的**です。
徒歩で外出する際は、自分の身を守るために、明るい服装や夜光反射材を身に着けて、自分の存在を周囲に知らせましょう。
 - ◎ 道路を横断する時は「渡るよサイン」(※)で周囲に道路横断の意思を示すとともに、横断前の左右確認はもちろん、横断中も車が近づいて来ていないか確認しましょう。
- ※ 「渡るよサイン」とは、手を上げる、目で合図を送るなど歩行者がドライバーに横断意思を伝える様々な動作の総称です。



重点② 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です！

- ◎ 本年10月末現在、県内の飲酒運転による交通事故は25件（前年比-2件）発生しており、昨年と比較して減少していますが、依然として飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません。
- ◎ 県民の皆さん一人一人が「**飲酒運転を絶対にしない、させない**」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

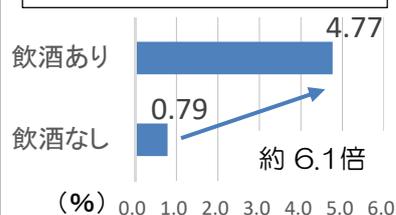
～ 飲酒運転の死亡事故率 約6.1倍 ⚡ ～

- ◎ 全国の飲酒運転による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの場合と比べて**約6.1倍**も高く、飲酒運転が極めて危険性が高い悪質な運転行為であることが分かります。
- ◎ 二日酔いも飲酒運転になります。
アルコールは体内から簡単に抜けないことを認識し、深酒をした翌日は家族からの送迎や公共交通機関を利用するなど、車の運転を控えましょう。

～飲酒運転による交通事故発生状況～

	R3	R4	R5	R6.10月末
発生件数	38	35	37	25(前年同期比-2)
死者数	3	3	0	1(前年同期比+1)
負傷者数	47	40	47	32(前年同期比-3)

死亡事故率比較(令和5年)



重点③ 冬道の安全走行

冬道の運転は時間に余裕をもちましょう！



- ◎ **冬道は焦らず慎重に運転**することが大切です。
冬道は路面状況によっては速度を落として運転する必要があります。
天気予報を確認し「明日は大雪」「気温が下がって路面が凍結する」などの情報が
あれば、**早めに出発できるように準備するなど、時間に余裕をもった運転**をしましょう。

【冬道走行のポイント】

1. 出発前の準備

車に積もった雪を落とす、窓ガラスの曇りをとるなど、しっかりと視界を確保してから出発しましょう。

2. やさしいブレーキ操作でタイヤをスリップさせない

減速時や停止する際には、やさしいブレーキで速度を調節して、タイヤをスリップさせないようにしましょう。

3. 交差点の手前では、周囲の状況に気を配る

前車との車間距離を保ち、前車の動きに注意しましょう。

早めのウィンカー、ブレーキで後続車へ注意を促しましょう。

4. 「急」のつく運転をしない

スリップの原因となる急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルはやめましょう。

通年
運動

止まって！横断歩道キャンペーン

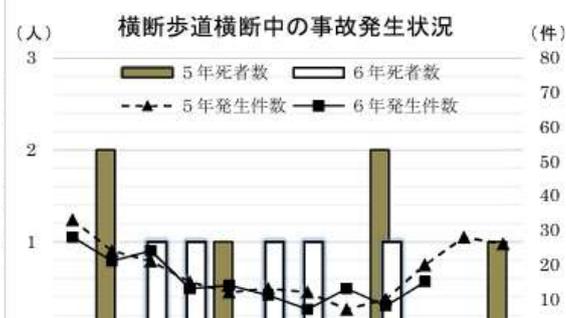
取組重点期間 ▶ 12月11日(水)～12月20日(金)



「横断歩道は歩行者優先 『冬こそ』必ず止まる！」

- ◎ 本年10月末現在、県内の横断歩道横断中の歩行者事故発生状況は、昨年に比べ、死者数は変わりませんが、発生件数、負傷者数はともに減少しています。

- ◎ 令和5年12月中、県内の横断歩道横断中の死者数は1人、負傷者数は25人でした。負傷者のうち、**65歳以上の高齢者が9人と、全体の4割近くを占めました。**



自転車ヘルメット着用促進県民キャンペーン実施中!

警察庁が都道府県ごとの自転車ヘルメット着用率の調査結果を公表しました。調査の結果、新潟県は全国平均17.0%を大きく下回る 8.0%、全国順位は44位と昨年の最下位から脱したものの、依然として着用の定着化が図られていない結果でした。

ヘルメットは万が一の事故の際に頭部を守る等自分の身を守るためとても重要なアイテムです。春に向けて自転車ヘルメットの準備をしましょう。



ヘルメットキャンペーン
特設サイトはこちら



ヘルメットの
有効性動画はこちら
(新潟県警察公式チャンネル)



「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。

ハンドルキーパー



冬の交通事故防止運動～主な活動内容～

1. 飲酒運転根絶のための飲食店訪問（予定）
2. ポスターの掲示・飲酒運転防止チラシ配布（関係機関）
3. 優良・優秀運転者表彰申請受付（各地区・事業所）
4. ホームページによる広報